

教育民生常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和4年12月7日(水) 第2委員会室
2. 出席委員 林高正委員長 宇江田豊彦副委員長 坂本義明 藤木百合子 國利知史 前田智永
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 丸飯龍太議会議務局主任主事
5. 説明員 なし
6. 傍聴者 なし
7. 会議に付した事件
 1. 地域包括ケアシステムの構築について(視察のまとめ)
 2. 所管事務調査報告書(案)について
 3. 陳情について(陳情第30号~32号、第34号~38号、第43号)

午後1時56分 開 議

○林高正委員長 ただいまから教育民生常任委員会を始めたいと思います。

1 地域包括ケアシステムの構築について(視察のまとめ)

○林高正委員長 本日の協議事項は、1点目が、地域包括ケアシステムの構築についてということで、先般、視察に行きましたので、そのまとめ。2点目が、所管事務調査報告書案についてということで、できれば12月議会で報告させていただきたいと考えています。3点目が、陳情についてということで、今回、協議事項が多いのですけれど、その3点を予定しております。では、1点目、先般伺った福井県おおい町名田庄診療所、地域包括ケアシステムの構築についてということで、皆さんの御意見をいただいて、それをもとにまとめて、これも12月議会で報告したいと考えておりますので、活発な御意見をいただけたらと思います。皆さん報告書を出されたでしょう。それにのっとった形で御報告いただければと思います。國利委員。

○國利知史委員 見学をさせていただいて、まず思ったのが、医療と福祉と保健が一体的に行われているということで、すごく効率がいいシステムということもありましたし、施設自体が町の大きさというか、人口の規模から考えても、あれぐらいの規模にはなるのかなとは思ったのですが、全部必要な施設で、病院、それからデイサービス、社会福祉協議会など、一体的に取り組めるような配置というか、よく考えられた施設になっているなというところはすごく印象に残っています。みんながそこに集まるような、町の中心的な施設になっているというところがすごく勉強になったと感じました。

○林高正委員長 宇江田副委員長。

○宇江田豊彦副委員長 関連して施設についてですが、施設設計段階から地域の人たちの声を吸い上げて、活用者、利用者レベルで議論をされてつくられた。コンサル会社や設計会社、そういう方が中心になって考えたものではなくて、利用者、またそこで仕事を日常的にする人の意見を大いに反映させた形でつくられたというのが非常に特徴的で、今後、本市でそういう対応をする場合、やはりより市

民参加をいただけるような施設設計というものが必要になってくるのではないかとこのことを強く感じたところです。あわせて、そこで医療提供する方が行政の内部に入られて、それを具体的に企画立案されてきたというのも今までにないケースの取り組みであったと感じています。

○林高正委員長 藤木委員。

○藤木百合子委員 皆さんの意見を聞いて、本当によく考えられてつくられているなというのは感じました。一番感じたのは、中村先生という医師の非常に明るいキャラクターもあるのですが、すごく前向きな形でいろんなことに取り組んで、また、他の人と話すことを非常に積極的にやられて、意見を取り入れられているのだなというのを感じました。ただ、今後、先生の持っておられるパワーを後の人がどういう形で継続されていくのかということを少し思いました。

○林高正委員長 前田委員。

○前田智永委員 中村先生の話は、先生だからできるのかなという印象も受けた反面、そういう人をどうやったらふやせるだろうかという視点で考えたときに、先生も言われていましたが、決まりやルールは固めないほうが良いと最後におっしゃられていたのがすごく印象的で、がちりしてしまおうと、これからはみ出るとできないからというのが行政なので、そこをしっかりと柔軟に、適材適所、福祉とか全般のサービスを総合的にすることがいいことだ、それを地域の人は望まれているとおっしゃられていたので、そういった総合的な取り組みをするためには、本市で言えばですけど、行政、社協と地域の人がみんなで一体となって取り組んでいく必要があると感じました。

○林高正委員長 今、皆さんの御意見をいただいたのですが、恐らく皆さん共通認識だったのだらうと思う。今、皆さん触れられなかったけれど、あそこのすばらしさに、やはり研修医をずっと受けつけていると。来た研修医の半分は僻地医療に携わると。それが目的であそこへ研修に行っているというのが私は大きいのではないかと思います。それともう1点、私が感じているのは、中村先生が公務員だからいいのではないかと。あれが自分で経営している医者ならあんなことにはならないと思う。彼のかなり個性の部分が強かったのだらうと思いますけれど、後継者の話をしたら、私には関係ないとあっさり言われましたので、そうは言いながら、絶対に何か考えはあるのだらうと感じました。診療所の所長ですけど、公務員なのです。だから、自治医大を卒業して9年間はその勤務しないといけないということで、福井の何とか病院とか行って、名田庄へ行って、また福井の病院に行って、そのあとはずっと名田庄ということで、もう地の人みたいな感じでした。宇江田副委員長。

○宇江田豊彦副委員長 地域医療を専門科目として確立しようという取り組みは、医師の取り組みなのだけれど、医師の取り組みとしてもこれは特徴的で、新しい分野として、僻地医療の展望を見いだすものだと感じたのです。だから、僻地医療を展望するときに、こういう取り組みが全国的に広がっていくということが大切なのだと思うのです。だから、そこへ重きを置いた取り組みをされているのが非常に驚きというか、新たな発見というか、感じたということが大きかったです。

○林高正委員長 では、きょういただいた皆様の御意見、その他報告書等へ上がっているものを私のほうで見させていただいて、それをまとめて、また会期中にどこかで時間をとって、それを皆さんにお見せして、最終日に報告するという段取りにしたいと思います。まとめるのに少し時間をください。

2. 所管事務調査報告書(案)について

○林高正委員長 では、2点目の所管事務調査報告書案についてということで、皆さんのお手元に博物館・資料館の現状と課題についてというものを配付しておりますので見ていただきたいと思います。令和3年12月16日に口和郷土資料館に我々と生涯学習課長、口和支所口和教育室長、口和支所口和教育室教育係主任で視察に行ったものでございます。書いてあるのは、はじめにというところで、そこには概要を書いている、一番下のところに、数ある博物館・資料館の中から、全国的にも珍しい音響・映像機器の動態展示をしているが、施設の経年劣化やこれからの運営に大きな課題を抱えていると思われる庄原市口和郷土資料館の視察報告をもって調査報告とするということで、はじめにを書かせていただいております。概要は、(1)資料館の概要ということで、これも皆さんも一緒に聞かれているわけですから、あえて朗読いたしませんけれど、昭和52年に旧口南中学校校舎に開設し、昭和55年に現在の旧庄原格致高校口和分校校舎に移転したということでございます。ですから、もう相当に古いということは間違いないと。はじめにで触れたように、ここは全国的にも有名な音響機器の資料館として現在に至っているということを申し述べておきます。めくってもらって、2ページ目、施設の概要でございます。木造2階建てで、昭和38年3月、庄原格致高校口和分校として建設されておりますので、もう60年になろうかというものでございます。施設の利用状況は、1階5部屋、それはロビー、ふれあいシネマ、化石・出土品展示室、修復作業室、事務室。2階も5部屋あって、それぞれ展示室となっております。東館B棟は未使用ということで、収蔵品の保管場所、来館者休憩室となっております。体育館は収蔵庫ということです。運営状況は、管理体制として、館長が1名、職員2名ということで、全員が会計年度任用職員です。開館日が月・木・土曜日、9時から17時。入館料は無料。口和郷土資料館後援会というのが地域連携をしているということです。主な収蔵品については、音響機器、民俗資料、レコード資料、映像資料等がございます。主な実施事業は、ふれあいの丘映画館、ふれあいの丘コンサート、郷土史講座、物づくり体験教室、カナリアの会ということで、懐かしい童謡や歌謡曲を歌う会、球楽達人の集い、手づくり真空管アンプを楽しむ会ということだそうです。来館者の推移ということで、やはりコロナ禍ということで、ここ2、3年は相当落ち込んでいるということになっております。委員の所感として、今言ったように、60年からなる建物については、外壁に多数のクラックがあると。木製の窓枠は落下の危険性がある。収蔵庫として使用している体育館の屋根の傷みや快適性に欠けるトイレなど、今後の施設維持に多くの課題を抱えている。屋根が鉄板であり、さびが気になる。早急に修理をしなければ、雨漏りするのではないかと。トイレの改修は利用者が使いやすいようにしたほうが良いと。皆さんの報告書に書いてあったことです。ここの運営でございます。展示物が民具から音響機器まで多岐にわたっており、きちんとした形で管理し、館長が解説を入れるというのはなかなか難しいと思う。民具を初め、太平洋戦争時の召集令状など、歴史的に価値のあるものも多くあり、本市の人権週間などで活用するなど、違う形の展示も考えられると。多岐にわたる資料を市の財産として今後も継続していくとなると、PRの仕方を工夫し、県にも協力を得るなど考えなければならないと感じた。多くの来館者が来ると、館長が対応できない。今は館長を含め3人の職員がいるため、支所を含めて自発的に対応を考え、しっかり議論してもらったほうが良いという御意見をいただいております。その他で、市内中学校・高校、県立広島大学との連携の可能性を探っていくことも大事であると。総括として、最後にまとめさせていただいたので、ここは読ませていただくと、今回の口和郷土資料館の視察を通し、最大の課題は、安部館長頼りでの資料館運営は早晚、限界を迎えるということであると感じた。安部館長頼りから脱却しながら資料館を存続させ

るためには、運営本部、事業計画を含む、収蔵物管理部門、修理を含むや建築物管理部門、維持管理・清掃を含む、資料館後援会の充実等、グループ化した組織にすべきと考える。そして、これまで以上に、口和支所や教育委員会生涯学習課と連携することで地域の郷土資料館としての存在意義がより明確化され、地域の宝、庄原の宝という意識が醸成されてくるだろう。展示物の説明は、貸出式のヘッドセットとし、来館者の自由度を高める工夫をしてはどうだろうか。隣接する作業所や保育所との連携、さらには、市内の小中学校や高等学校、県立広島大学等と連携し、博物館利用で採用している庄原市キャンパスメンバーズ制度の拡充を図ることも有効と考える。つまり、メンバーズ、ファン倶楽部に入ること各地の博物館や資料館を無料で利用でき、何らかのインセンティブが付与されれば来館者増も期待できる。活性化の一番は来館者がふえることである。ハード面では、収蔵庫として使用している体育館の屋根と屋外トイレの改修は喫緊の課題であり、早急な対応を要請するということが総括させていただいております。今、御説明したこの報告でございますけれど、ここはこうしたほうがいいとか、ここはもう少しこれをつけ加えたらいいという御意見があったら幾らでも足したり引いたりできますので。副委員長。

○宇江田豊彦副委員長 資料館後援会、これは任意団体で、極端に言えば勝手にやっている団体なのです。地域でこの資料館を盛り上げるために草刈りをしたりとか、そういう取り組みを後援会がされているので、後援会をここに入れるのがいいのかどうか疑問なのです。後援会があるうがなかりうが一定の取り組みはしないといけないので、後援会の皆さんが自発的に資料館を盛り上げるための活動をしていただけるのは、それはありがたいことだと思うのだけれど、それが独立した形で本市がどういうふうにするかということが課題なのだろうと思う。

○林高正委員長 実際、その後援会の実態というか、定期的に何かをやっているとかそういったことはないのか。副委員長。

○宇江田豊彦副委員長 多分やられていると思います。だから奉仕作業的なこと、それからイベントを打ったときに、後援会の皆さんがより積極的に参加をいただくということは、取り組みとすればあるのだと思う。映画会であるとか、カナリアの会であるとか、そういう形で後援会員の皆さんに呼びかけるという行動は後援会の皆さんがやられているのだと思う。

○林高正委員長 では、残してここに記述してあっても私はいいと思う。そのほかございますか。今回最後に書かせていただいた収蔵庫として使用している体育館の屋根と屋外トイレの改修。これだけは早くやってくれということで書かせてもらったのですよ。全部が全部は言えないので、まずここはやってくれと。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長 では、これで最終日に報告させていただきたいと思います。

3. 陳情について (陳情第 30 号～32 号、第 34 号～38 号、第 43 号)

○林高正委員長 続いて、陳情についてでございます。9本でございます。どのように扱うかということで、まず、皆さんが持っていらっしゃる一覧の中の1ページ目、庄原市シルバー人材センターへの支援要望ということで出てきております。これは毎回出てきているのですが、今回そのアンダーラインがついているところを特に言ってほしいのだろうと思うのですが、令和3年度においては会

員就業に係る適正就業ガイドラインを実践するとともに、業務の効率化と適正化にも懸命に取り組んでいると。また、ここが懸念される場所らしいのですけれど、令和5年10月導入予定の消費税における適格請求書等保存方式、インボイス制度に対する影響は極めて大きく、事業運営への支障を強く懸念していると。インボイス制度についての税制改正の要請を賜りますようお願い申し上げますということが書いてあります。これはどういうことなのか説明を受けていないので、実はわからないから読んだだけですけれど、今は、いわゆるお客さんから要望があったものをシルバー人材センターが受ける。そしてそれを出すところの班の人へ、最初、見積書を送る。そこでオーケーだったらいいですよということで契約してもらって、それが今度は全部インボイスになっただけで顧客と働きに行くシルバー人材センターのメンバーの人は直接話をしに来てくれということにどうもなりそうなのだとことを伺っております。だけれど私は聞いたことがないのでよくわからないのだけれど、どなたかシルバー人材センターでそんなお話を聞かれたことがございますか。これは私見ですけれど、シルバー人材センターの存続が難しくなってくるのではないかとするのは少し感じている。坂本委員。

○坂本義明委員 仲介業者みたいになってしまうので、直接話をしてくださいと。話をした分についてのマージンのなものはこれだけ私どもがもらいますよという形になるので、今までも直接しているのも結構いる。だからそれがどんどん進んでいく。それからもう少し工夫しないと、シルバー人材センターの意義というか、価値がなくなってくるように感じる。

○林高正委員長 実態として、やはり定年延長になってきて、70歳まで働いたりするからメンバーが集まらないということもあるのです。ですから、会員数が少ないからお仕事ももらっても振る人がいない。そういう中でこの要望書が出てきているわけでございますけれど、当委員会としては、どのように扱えばよろしいでしょうか。人材センターを呼んで来て聞かないといけないとかいう意見があれば呼んでみますし、そうではなくて供覧に付す程度でいいと言われてたらそのようにしますし。副委員長いかがですか。

○宇江田豊彦副委員長 よくわからないのですが、要望されているのは2点です。インボイス制度に対する是正をしてくれるよう国に要請してということと、それから支援を今までどおり変わらずにしてくれということで、少し状況を聞かせていただかないとわからないのではないかと思います。全くわからずに結論を出すのは難しいので、1回お伺いをすればいいと思うのですが。お話を聞かせていただければ。

○林高正委員長 坂本委員。

○坂本義明委員 行って話を聞いているのだけれど、それをまとめたものがあるかどうか。話は聞かせてもらったのだけれど、先ほどの話ではないけれど、人材がいないと大変なのだとことを一生懸命言われたので、多分行って同じようなことになると思うのですけれど。行くことがだめというわけではないけれど、2、3年前に行っているような気がするので、それから状況が変わっているかもしれない。これを持って検討して、もう一遍来てもらってもいいし。せっかく要望されているなら来てもらうほうがいいか。

○林高正委員長 やはり伺わないと、これだけ読んだのでは何のことかよくわからないということがあるので、会期中に相手と話して、参考人として来てもらえるかどうかということを探してみたいと思います。前田委員。

○前田智永委員 インボイス制度については、所管といたしますか、担当が企画建設のほうに以前あった

と思うのですけれど、そのあたりの情報といいますか、そういう共有とか、一緒に何かできるものなのではないでしょうか。

○林高正委員長　　これ自体が審査ではないので、意見を伺うという程度だから連合審査みたいにする必要はないのかなと思います。これ自体がまだ確定したものでもない。いろいろ出てきているではないですか。だから少しお話を伺うという形で、事務局で一度やってみてください。その後また皆さんにお諮りして、どうするかを考えたいと思います。続いて、4ページ、安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める請願書ということで出ております。趣旨等も書いてございます。要は、3年に及ぶコロナ禍を経て改めて痛感されるのは、医療体制を増強させなければ、人の命や健康は守れないという事実ですということで、大変に現場は疲弊していつていると。ですから下記事項について、意見書を決議していただけるよう要請しますということで、るる書いてございますけれど、先ほど副委員長が申したように、これは要望でございますので、供覧に付すでよろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長　　続いて8ページ、医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願書と書いてございますけれど、これは同じ方、医療労働組合連合会執行委員長から出されております。先ほどと同じ扱いとさせていただいてもよろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長　　続いて18ページ、物価高騰に対する支援を求める陳情書ということでございます。これは「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会代表という方から出ている陳情書でございます。きょうの議会にもかかりましたが、光熱水費、食材料費、燃料費の助成措置を講じることということで、この1点目が出ておりますけれど、28年間据え置かれている医療機関への食事療養費の引き上げ実施を国の責任で行うことということで、これも2点書いてございます。これについても前例と同じで供覧に付すでよろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長　　続いて19ページ、これも同様の神部様から出ている国民健康保険料（税）、後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免実施を求める陳情書でございます。陳情項目は3点書いてございます。これも同様の扱いでよろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長　　続いて20ページ、これも同じ神部様から出ております。低所得者の生活支援を求める陳情書ということで、現金給付を行ってくれと。あるいは、家計急変世帯における申請の周知を徹底することということでございますけれど、これも供覧に付すでよろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長　　続いて21ページ、子どもの医療費助成制度の拡充を求める陳情書ということで、同じく神部様から出ております。広島県は、県独自の子ども医療費助成制度の拡充を行うことという内容でございますが、こちらも供覧に付すでよろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長　　続いて22ページ、地方ローカル線を守るために鉄道事業法の改正を求める陳情書ということで、これも神部様から出てきております。これも長く書いてありますけれど、陳情項目は、23ページでございます。地方ローカル線の廃止は当該地域住民の日常生活や経済活動に大きな影響を

与えることから、鉄道事業者の届け出により路線を廃止できる現行の鉄道事業法について、路線を廃止する場合は関係自治体の同意を前提とする許可制に戻すことということでございますが、これも供覧に付すでよろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長 続いて最後、34 ページ、社会福祉協議会から令和5年度庄原市当初予算に係る予算要望についてということで、これも例年どおり社協から出てきているものでございます。37 ページにありますけれど、次のとおり要望しますということで、重層的支援体制整備事業の実施にむけた具体的なフレームづくりに取り込まれるとともに庄原市社会福祉協議会の参画と積極的な活用について。ふれあいセンターを重層的何とかかんとかかんと書いてございます。3点目が、バス停から遠い地域に居住するまたはバス利用が体力的にということで、市民タクシー制度を拡充して生活交通サービスを確立してくれということがる書かれております。これについても供覧に付すでよろしゅうございますか。それとも社協の方を呼んででも聞いてみましようか。どうしましようか。今までは全て供覧に付すでございます。それでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長 では、本日1点目にあった庄原市シルバー人材センターの支援要望については、事務局のほうで、参考人招致になるのか、こちらから出向くのか、先方と協議して、一度お話を伺うということにさせていただきたいと思えます。その他については全て供覧に付すという扱いにさせていただきたいと思えます。次回の予定は、先ほど言った1点目の所管事務調査報告書で名田庄の部分をもとめたものを皆さんにお示しするというのと、2点目は閉会中の継続調査についてということで、事務局、12月のいつごろか。

○丸飯龍太議会議務局主任主事 12月12日から16日までの間でさせていただけたらと思っております。あわせて参考人招致するのなら、それを最初にやって、その後、レジュメに書いてある内容を協議していただくという流れはどうかと思うのですが。

○林高正委員長 今、事務局から12月12日から16日の間でやってもらえればどうかと。先方と協議をしなければいけないので、この日ということにここでは決めにくいのですが、皆さん、よろしいですか。本会議中ですから空けてもらわないと困るのですが、事務局でそれを決めさせてもらってもよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長 時間は何時ぐらいからか。事務局。

○丸飯龍太議会議務局主任主事 基本的には10時からを考えております。

○林高正委員長 午前中で終了いたしますので。では、今回は、12月12日から16日の間の1日で、10時から2時間程度ということで、シルバー人材センターのほうも流動的ですけど、参考人招致で来ていただけたらそのお話を聞いていただいて、報告書案についてと閉会中の継続調査についてを協議していただくという内容になっております。その他、何か皆さんからございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長 ないようでしたら、これで本日の常任委員会を散会したいと思います。ありがとうございました。

午後2時31分 散 会

庄原市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

教育民生常任委員会

委員長